

～使ってベスト! しっかりガード!～

殺虫剤

ベストガード® 粒剤

アブラムシ・コナジラミ・アザミウマ
などの難防除害虫に



アブラムシ類(ワタアブラムシ)



タバココナジラミ



ミナミキイロアザミウマ



マメハモグリバエ

幅広い時期(は種時、鉢上げ時、育苗期、定植時)に
使用できるようになりました!!

※トマト・ミニトマト・なす・きゅうりのアブラムシ類

適用拡大

●いちご(チバクロバネキノコバエ)等

は種時または鉢上げ時に!! <育苗培土混和>

なす、トマト、ミニトマト、きゅうり など

育苗期に!! <株元に処理>

なす、トマト、ミニトマト、きゅうり、
レタス など

定植時に!! <植穴に処理>

なす、トマト、ミニトマト、きゅうり、
すいか、ピーマン、ブロッコリー など

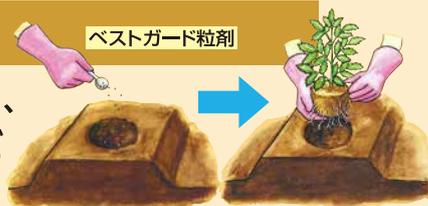
生育期に!! <株元に処理>

なす、しゅんぎく、
いちご、花き類 など



特長

- 長期間効果が持続
- 作物への安全性が高い
- いやな臭いが無い



3kg袋もあります

■適用と使用方法

2022年6月現在の登録内容(太字は2022年6月8日適用拡大)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	ニテンピラムを含む農薬の総使用回数	使用方法
きゅうり	コナジラミ類、アブラムシ類、アザミウマ類	5g/培土ℓ	は種時 鉢上げ時	1回	※②	育苗培土混和
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期			株元処理
	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類	1~2g/株	定植時			植穴処理土壌混和
なす	アブラムシ類	5g/培土ℓ	は種時又は鉢上げ時	1回	※②	育苗培土混和
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株 ※①	育苗期			株元処理
	アブラムシ類、コナジラミ類、ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	育苗期後半			散布
	アブラムシ類	2g/株	定植時			植穴処理土壌混和
トマト ミニトマト	アブラムシ類、コナジラミ類	5g/培土ℓ	は種時又は鉢上げ時	1回	※②	生育期株元散布
	アブラムシ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類	1~2g/株 ※①	育苗期			育苗培土混和
	アブラムシ類、コナジラミ類	1~2g/株	育苗期後半			株元処理
	ハモグリバエ類	2g/株	定植時			散布
すいか	ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	収穫前日まで	3回以内		植穴処理土壌混和
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	定植時			株元処理
ピーマン	アブラムシ類、コナジラミ類	1~2g/株	育苗期	1回	※②	植穴処理土壌混和
	コナジラミ類	1g/株	定植時			株元処理
ししとう	アブラムシ類、コナジラミ類	1~2g/株	定植時	1回	※②	植穴処理土壌混和
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期			株元処理
とうからし類(ししとうを除く)	アブラムシ類、コナジラミ類	1~2g/株	定植時	1回	※②	植穴処理土壌混和
メロン	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期			株元処理
	アブラムシ類、コナジラミ類	1~2g/株	定植時	植穴処理土壌混和		
	ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時	植穴処理土壌混和		
ズッキーニ	アザミウマ類	1~2g/株	定植時	1回		植穴処理土壌混和
うり類(漬物用)	アブラムシ類	1~2g/株	定植時	3回以内		生育期株元散布
いちご	チバクロバネキノコバエ	1g/株	収穫前日まで	1回	※③	植穴処理土壌混和
	アブラムシ類	※①	定植時			散布
カリフラワー	アブラムシ類	1g/株	育苗期後半	1回	※⑤	散布
ブロッコリー	アブラムシ類、アザミウマ類	1g/株	定植時	1回		植穴処理土壌混和
ねぎ	ネギアザミウマ	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約3~4ℓ)当り50g	定植当日	1回	※②	散布
	クロバネキノコバエ類	6kg/10a	は種時			作条処理土壌混和
	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	6kg/10a	定植時			植溝処理土壌混和
		5g/培土ℓ	収穫前日まで			株元処理
わけぎ、あさつき	ネギハモグリバエ	6kg/10a	は種時	3回以内		育苗培土混和
しゅんぎく	アブラムシ類、コナジラミ類、マメハモグリバエ	9kg/10a	定植時	1回	※④	植溝処理土壌混和
		9kg/10a	収穫3日前まで			生育期株元処理
レタス	ナモグリバエ	10g/培土ℓ	は種時	1回	※②	育苗培土混和
	アブラムシ類	0.5~1g/株 ※①	育苗期後半			株元処理
		※①	定植時			散布
すいぜんじな	アブラムシ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類	9kg/10a	定植時	1回	※④	植溝処理土壌混和
ばれいしょ	アブラムシ類	3kg/10a	収穫3日前まで 植付時	1回	※⑦	生育期株元処理
食用ぎく	アブラムシ類、ミカンキイロアザミウマ、マメハモグリバエ	2g/株	定植時	2回以内	※⑥	植溝処理土壌混和
さく	アブラムシ類	2g/株	収穫前日まで	2回以内	※⑥	生育期株元散布
	ミカンキイロアザミウマ、マメハモグリバエ	2g/株	定植時			生育期株元散布
きんせんか	アブラムシ類	1~2g/株	発生初期	4回以内	4回以内	生育期株元散布
	マメハモグリバエ	2g/株	発生初期			生育期株元散布
		1~2g/株	発生初期			生育期株元散布
花き類・観葉植物(さく、きんせんかを除く)	アブラムシ類	3~5g/培土ℓ	定植前	1回		培土混和
		1~2g/株	発生初期	4回以内		生育期株元散布

※①:セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約1.5~4ℓ)当り50g

※②:4回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後は3回以内)

※③:4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、株元散布及び散布は合計3回以内)

※④:2回以内(定植時の土壌混和は1回以内、株元処理は1回以内)

※⑤:5回以内(育苗期は1回以内、定植時は1回以内、定植後は3回以内)

※⑥:4回以内(株元散布は2回以内、散布は2回以内)

※⑦:5回以内(植付時までの処理は1回以内、植付後は4回以内)

■使用上の注意事項

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

●マルハナバチを利用する場合、本剤使用後20日目ごろより後に導入してください。ただし、影響日数は環境条件により多少変動する場合がありますので注意してください。

●ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。

●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

●散布の際は必ず農業用マスクなどを着用し、作業後はうがいをしてください。

●直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

●散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

04R6F22B116:ZS

2022年6月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP

住友化学

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>